

## 令和 6 年度「社会貢献促進セミナー」の紹介 Social Contribution Facilitation Seminar

群馬大学大学院医学系研究科医科学専攻では、大学院生の必修科目として「社会貢献促進セミナー」を行っています。平成 16 年から始まった取り組みで、社会課題や地域のニーズをふまえて大学院生自身が立案したプログラム、あるいは群馬県や前橋市保健所からご提案頂いたプログラムを実践し、社会貢献への理解促進およびコミュニティの一員として社会貢献を積極的に実践できる医学研究者の育成を行っています。今年度は 16 のプログラムを 34 名の大学院生が実践しましたので、その内容をご紹介します。

No	プログラム名	人数	プログラム内容
1	群馬大学重粒子線がん治療施設見学会	4	2024 年 10 月 5 日(土)に開催された重粒子線治療施設見学会にボランティアスタッフとして参加した。本見学会は重粒子線治療施設を保有する大学として、内部を一般公開することで重粒子線治療の関心を高め、正しい知識の普及に努めるものとして社会貢献をしている。見学者に対する説明誘導スタッフ、さらに、プログラム内の高校生向け実習サポートスタッフとして参加した。 
2	シンポジウム、講演、教室など	6	前橋市内の看護大学で、子宮頸がんの検診ならびにワクチン事業について講演をおこなった。昨今の HPV ワクチンのキャッチアップ接種を契機に、特に若い女性の関心が強い子宮頸がんに関して一般的なことから、比較的専門的な内容まで、幅広く扱った。聴講者が正しい医学情報へのアクセスの一助となれたと考えている。 
3	第 106 回全国高等学校野球選手権(群馬大会メディカルスタッフ)	2	第 106 回全国高等学校野球選手権群馬大会に現地メディカルスタッフとして参加した。球場の環境調整や参加者の救護対応および選手のコンディション管理を行った。今後も高校野球連盟との連携を行い、学生野球の発展に努めていきたい。 
4	小中学生のための医学研究者・医師・看護師体験教	5	本教室に参加された小中学生には医師体験として、胃カメラ(上部消化管内視鏡検査)をする側として体験していただいた。初めに、胃カメ

	室		<p>ラの使い方を指導し、シミュレーターで胃カメラを操作してもらい、全員がゴール(十二指腸)まで到達できた。その後は質疑応答の時間とし、医療医学や医師の勤務内容、プライベートなど様々な質問に対して回答した。</p> 
5	群馬県版—国民健康保険特定健診受診状況概要パンフレットの作成	1	<p>群馬県在住の県民を対象に、「高血圧・高血糖の予防」をテーマに、群馬県国民健康保険の特定健康診査データ解析から浮かび上がった群馬県特有の健康課題についてまとめたリーフレットを作成した。内容としては、高血圧・高血糖の該当状況や、危険因子、若年層における生活習慣改善の必要性などを、実データを示しながら展開し、行動変容を促すものとした。</p>
6	群馬ドッグパーティー メディカルスタッフ	1	<p>Dog Party は動物好きのためのイベントで、犬と人の交流を楽しめる場として人気である。前回は多くの反響がありつつも、犬による噛みつき事故が発生してしまった。今回のイベントでは、救護・衛生班を設置し、安全対策を強化した結果、怪我人ゼロを達成し、参加者が安心して楽しめる環境を提供することができた。</p>
7	高校生のための医学セミナー	5	<p>高等学校の担当教員と調整し、1 時間程度、高校生(27 名程度)に向けて、医学や医療に対する関心を高めるための講演を行った。医師を目指したきっかけと、大学受験、大学生活、卒業後初期研修から現在に至るまでの略歴について事前質問にも言及しつつお話した。</p> 
8	口腔がん検診	1	<p>口腔癌の発生頻度は全がんの約 1%とそれほど高くはないが、罹患率、死亡率とも年々増加傾向にある。早期と進行癌では予後も異なるため、早期に発見し、治療につなげていくことは重要である。従って、口腔癌についての情報提供や口腔内の定期的なスクリーニング検査は大切である。今回、伊勢崎市の口腔癌検診のお手伝いとして参加させていただいた。</p>

9	健康登山塾への参加	1	<p>今回のプログラムにおいて、私が担った役割は、転倒や怪我の予防、および遭難のリスクを下げることであった。この役割を果たすことにより、当プログラムの参加者が不必要な事故や怪我に巻き込まれるリスクを低減できたと考えられる。その結果、参加者は快適かつ安全に健康増進に取り組むことができ、社会貢献にも寄与できたのではないかと思う。</p> 
10	障害児早期療育事業(マザー&チャイルド)	1	<p>2024年12月23日、太田保健福祉事務所を会場とする集団療育の会「障害児早期療育事業(マザー&amp;チャイルド)」に参加した。本会は遊びを活用した集団療育で、私は運営の手伝いとして参加し、主に児の遊びをサポートする役割を担った。</p>
11	群馬ちびっこ大学	1	<p>群馬大学では小中学生向けの夏休み体験教室として「群馬ちびっこ大学」を毎年開催している。今回私はリラクゼーションを体験するためのデモンストレーション動画を作成した。小中学生だけでなく、不安を抱える一般の方にも実践していただける内容となっており、社会貢献性がある。</p> 
12	さわやか群馬リーダー養成セミナー	1	<p>一般社団法人 群馬県老人クラブ連合会が主催した『さわやか群馬リーダー養成セミナー』において、『人との関わりと健康』をテーマに講演を行った(2024年10月18日、県社会福祉総合センターにて)。国内の高齢者を対象とした研究報告によると、人との関わりを持つことと、新たな要介護認定や、認知症、心疾患、脳卒中、うつ病などの発症予防の関連が示されており、研究内容と共に、研究の具体的な役立て方を紹介した。</p>
13	小学生への職業紹介「働く方とふれあおう」	1	<p>県内の小学校6年生を対象に、総合的な学習の時間を利用して「働いている方とふれあおう」というテーマのもと1時間程度の講演を行った。医師(麻酔科)の職業内容や職場の紹介、なぜ医師を目指そうとしたのか、小学生に向けたメッセージなどについてスライドを用いて対面での授業を行った。</p>  <p>仕事や将来の進路について考え始めている小学生達に、実際の医師としての経験や思いを伝えることで働くことのやりがいや意義を伝えることができ、社会貢献に寄与することができた。</p>

14	第 19 回前橋市立前橋高等学校救命講習会 (BLS & AED コース)	2	<p>本プログラムでは高校 1 年生を対象に一次心肺蘇生法のハンズオンを開催し、実技のインストラクションを行った。参加者のモチベーションは様々であったが、AED を適切に使用できること、胸骨圧迫を実施できること、という 2 つの目標を達成することができた。本講習を実施することで家庭や地域コミュニティレベルでの救命への認識を高め、将来的には病院到着時の自己心拍再開率の上昇を期待することができると考えられた。</p> 
15	ブラックジャックセミナー	1	<p>神奈川県立がんセンターでは 16 年ほど前から神奈川県内在住・在学の中高生を対象としてブラックジャックセミナーを毎年開催している。参加者は手術や内視鏡、エコー、放射線治療装置見学、縫合などを体験することができる。私は縫合コーナーのスタッフとしてこのセミナーに参加し、縫合コーナーの運営に関わった。約 15 人の参加者に縫合のコツや面白さを伝えると同時に、外科医の仕事のやりがいなどを伝えることができた。参加者からは「医師になりたい気持ちがより大きくなった」「医師になるなら外科医になりたい」といった声が多かった。神奈川県内の外科医不足の解消に少しでも貢献できるよう、今後も同セミナーに継続的に参加をしていきたい。</p>
16	「やさしい日本語」講座	1	<p>「やさしい日本語」プログラムは、医療現場における日本人と外国人のコミュニケーション向上を目的とし、簡単な日本語の活用を重視した取り組みである。経験共有では、インドネシアやモンゴルの参加者が医療用語や文化の違いに関する課題を語った。ロールプレイングでは、小生が外国人患者を演じ、X 線検査室を探す場面や麻酔の説明を理解する場면을体験した。演習を通じ、簡単な日本語とジェスチャーの組み合わせが理解を助け、不安を軽減することが確認された。プログラムは、相互の努力による円滑なコミュニケーションの重要性を示した。</p>